



弘前アップル RC 週報

会長：荒田 俊治 幹事：坂本 大輔

2013/08/26

第 59 回例会

弘前アップル RC 事務所

〒036-8086 青森県弘前市田園 1-21-1 アイエネットワーク内

内部卓話「私の履歴書」 竹浪大輔会員



今日はちょうどねふた祭が終わって、来週はお山参詣が開催されるということで笛のこと、お囃子のことを紹介できればなと思っております。

まず私、1984年の現在28歳なのですが、私が笛を始めたのが9歳、小

学校4年生でした。なぜ始めるようになったのかというと、地元でねふたを出すということで町内の子供たちに笛を覚えてもらおうということでいろいろ声掛けがあった時に「やります！」と手を挙げたのがきっかけでした。ですが、最初の2年間は音すら出せず、



私が今まで接してきた笛吹きの方で2年間音出せなかった人は私しかいないというくらい才能はないと思うのですが、一応小学校4年生から今までずっと続けてきました。

ただ小学校の頃はねぶたの笛、中学校に上がった時に私の住んでいる青女子の隣にある種市というところで獅子舞を復活させたい、要は笛を吹ける人がいないということで、テープを頼りにこの笛を吹いてくれないか、という声掛けがあり、その時はもちろんねぶたしか吹けなかったのも、そんなの無理じゃないかなって思いながら、それがきっかけでまっしろんなお囃子を覚えてみようということで青森ねぶたのお囃子とかお山参詣のお囃子とか地元の方に教わり、それが中学2年生くらいの時でした。

それで獅子舞はというと出来ませんでした。青女子に私の祖母の代が立ち上げたお山参詣の登山囃子保存会があったので、ずっとそこで登山囃子の練習をしてました。

そして中学校は吹奏楽部でトロンボーンを吹いていて、高校は硬式野球部と全然違うという(笑)。野球部というのはほとんど休みがなくて、高校になると笛の練習がパタッと止まった時期もありました。ちなみにこの間甲子園で活躍した聖愛高校と尾上総合高校の創部が一緒によく練習試合をしていました。あの頃の聖愛は弱小だったのになあ。練習試合でバカスカ打った記憶があります。あとお互い野球部出身者が少なく、私も吹奏楽部出身なので、ABAの『目指せ甲子園』という番組で、出身の部活を言ってくださいというコー

ナーで、「中学校時代は野球部でした」、「陸上部でした」、「相撲部でした」、「吹奏楽部でした」でかなり笑いを取った記憶があります。しばらく弘前の駅前とか歩いていると、「吹奏楽部の人だ！」って言われていました。吹奏楽をやっていたくらいですから音楽は大好きで、トロンボーン他に独学でピアノとギターもやってました。今はもうだいぶ鈍ってしまって全然出来ませんが。

高校はほとんど野球と子供会の活動に時間を費やしてました。笛も楽しいなって思いはあったのですが、それ以外にも野球も忙しいし、バイトもしたいとかで笛はほとんど吹いていませんでした。

大学も地元の弘前学院に進学し、その頃は今度大学生協の活動をいろいろやっていました。

それじゃあいつからこんなに笛を吹くようになったのかというと、大学を卒業して最初に入った会社が茨城県のつくば市、その後栃木県小山市というところに住んでおり、合わせて2年くらいでしたが、県外に出て初めて笛ってすごく良いものなのかなと気付きました。向こうの新入社員歓迎会でも大阪出身の同期に青森ねぶたのこのリズムを刻んでいけばいいからとアフリカの太鼓を叩かせて、ぼくは全然ねぶたを見たこともなければもちろんやったこともないんですが、なぜか「今から竹浪君と青森ねぶたを演奏します」ということになりました。その時、大体社員200人くらいの前で青森ねぶた、弘前ねぶたの演奏をしましたが、すごい拍手喝采で、「竹浪君はなぜ青森を



出てきたんだ。」って新入社員歓迎会で言われたということがありました。ああこれってすごく良いものなのかなあって、笛は幼い頃から耳馴れもしていたし、今まで当たり前にあったものですが、県外に出てこれはすごく良いものだったんだなと気付きました。それなら地元に戻って少しでもこの楽しさを伝えられないかなと思い、すぐ仕事を辞めて帰ってきてしまいました。それがたまたまリーマンショックとほぼ同時期だったのですが、その時期に戻ってきました。でも実際戻ってきてどうやって伝えていけばいいんだろうと思い、『津軽横笛ギネス実行委員会』という市民で構成されている委員会を立ち上げて、ねぶた囃子の演奏者数でギネスを取ろうという企画が2011年7月31日に決定しました。それまでの記録が前年にやった青森ねぶたの笛2320人でした。弘大でねぶたの研究をしている方のデータだと弘前ねぶたの笛吹きは1200人、多く見積もっても1500人くらいだろうということだったので、その2320人を達成するにはどんどん出前講座のようなものをして教えていかないと出来ないという状況でした。そしてそのギネスをきっかけにどんどん子供達や大人でも興味あるような人たちにねぶた囃子を覚えて実際にねぶたに参加してもらおうという企画が2011年ありました。私もその委員会に入り、あちこちに出前講座に行きました。大体私だけで大体600~700人に教えました。佐藤ぶん太さんが工業高校全校生徒に一気に教えていたので、実

行委員会で何千人という今まで笛をやったことない人に教えに行きました。実際2011年7月31日は3742人でギネスを達成しました。ギネスを取った時にすごく面白いことがありました。私が特に力入れたのが弘前大学での講習会で、そこでは大体1回100人前後の全6回行程で予定を組んでいました。最初参加者が30人程度だったのですが後の方では最大120人来た時もありました。それだけ弘前大学に1番力入れて講習会やっていましたら、ギネス終わった途端学生さんからお囃子のサークルを作りたい、引き続き大学に来てもらっていろいろ教えてほしい、という声掛けをもらいました。私にどこまで出来るか分かりませんがやれることはやります、ということで引き受けました。まず弘大の学生さんにねぶた囃子を覚えてもらうなどして、現在ではこの辺のお祭り大体できるようになりました。私は忘年会などに参加してみんなと一緒に演奏しているので、荒田さんあたりは大分聞いているかなと思います。ただ、この間地元の人からちょっと叱られたんですけど弘大やそういういろんなところで盛り上げるの良いんだけど青女子のねぶたはどんどん笛吹きが減ってる、だからもっと地元にも力入れなさいよと。それくらい、いろんなところで学校の放課後教えに行ったりとか授業に教えに行ったり児童館に行ったりしています。津軽のお囃子ってすごく面白くて、お囃子の数だけ笛があるんですよ。1本でどうにかなるってものじゃなくて、今これ20本入ってます。大体最低5



本くらいあればいいんですけど。これが弘前ねぶたの笛でそれが1番小っちゃい笛だと思うんですけど、1番大きい笛になるとお山参詣の笛とか、こんなに違うんですよ。青森ねぶたは青森ねぶた、五所川原は五所川原って全部笛が違って、それ専用に笛が作られてるんですよ。演奏する度に1曲ごとに笛変えなきゃいけません。

ハーモニカでいうCとかDとか、長さも太さも違うので全然同じ指で吹くと音が違う。基本的に竹で作られているので竹の太さとかでも音が違うんですよ。

この2本はお山参詣の笛なんですけど、まず長さも、これはちょっと特殊に大きい笛なんですけど、でも太さとかも若干違って、この間笹川さんがマイクあるなしで三味線変えますって話してたと思うんですけど、私もマイクあるなしで笛変えたりするので同じ弘前ねぶたでも何種類か持ってる、お山参詣でも何種類か持ってるっていう形で、本当にみんな大きさバラバラで、これが私津軽の笛の魅力かなと思っています。

でも笛ってすごく作りが単純で、筒状で正確に穴が開いてればなんでも音が鳴るんですよ。だからホースでも、なんでも実は音が出せます。ホースでも音でるくらい簡単なんだよーと子供たちには教えます。あと、笛安くて1本2000円するんですけど、2000円出して買ってくださっていうお願いが最初からできなくて、水道パイプで笛自分たちで作ってあげてるんですよ。大体1本30円くらいで出来て、普通に鳴ります。これは津軽の笛と違

って音階になってるんですよ。フルートと変わらないくらいきれいな音が出ます。

津軽の笛って音階になってないので、ドレミファソラシドになるように自分で改良して作った笛なんです。筒を先だけちょっと止めてあげれば何でも音が鳴るので、アクリルで作ったりいろんなことしてみたんですけど、やっぱり竹が一番で、昔の人は良く考えて作ったんだなあと思っています。

今弘大さんの学生さんも大体5本くらいは持って一緒にあちこち回ってます。普通ねぶたのお囃子とかだとねぶた近くの6月7月位から練習始めて今年も夏終わったねえとか今度お山参詣に向けて頑張んなきゃねえとかなるんですけど、なぜかここ1・2年、うちの方に演奏しに来てくださってのがすごい多くて、結果的に年中笛吹いてます。練習と演奏するの教えに行くので合わせて週5~6回笛吹いています。今週も今日だけなんですよ、笛吹かなくてもいい日って。気が付けば2日以上笛吹かないっていう日が年を通して無いんじゃないかなっていうにまできてます。

なので今、本業がなんなのかっていう、若干わからなくなってきたのが正直なところですよ。おかげで笛の楽しさをみんなに伝えられていますが、それが当たり前のことだけど実はすごいことなんじゃないかなって感じています。どうせだったら若いうちにとまってあの時思い切って仕事辞めて帰ってきたんですけど、まあその通りになったかどうかは別にしても着々とそういうのが広まってきているのがうれしいなと感



じている今日この頃で、明日も若干仕事を2時間だけ休みもらって、式典の前のアトラクションで吹いてくれるって、ホント年50件とかっていうアマチュアです(笑)。

この業界でのプロとアマチュアってどう違うんですか？

一応お山参詣に限ってなんですけど毎年お山参詣の日に登山囃子の囃子の大会があって、その登山囃子の大会は年に6回とか7回とか桜祭りでやったりとか藤崎の花火の前にやったりとか平賀でとかアスパムでとか年に何回か登山囃子の大会ってあるんですけど、そのお山参詣の時の本大会で毎年優勝した組が、松竹梅って登山囃子3段階に分かれてるんですけど、まあ竹が一般の部で、梅が中学生以下の部でほとんどが竹組に所属してるんですけど、本大会の竹組の中で優勝した人が松組に上がるという。で毎年1組ずつ松に上がって松組は松組の大会っていうのがあるのでまずステータスとしてそれくらいでしょうか。でも私は実は大会に上がった事が無いです。

竹笛って興味持ったんですけど口で音程取ったりするんですか？

口でもやります。

フルートやってる人って結構いけるんですか？

フルート吹いてる人は音に関しては抜群に上手です。

ちなみに津軽地方でねぶた祭りねぶた祭りが無いっていう地域がほとんどない。弘前黒石五所川原青森ってすごい有名なんですけど、実は津軽地方に関して言えば無い個所が2つしかない。西目屋ともう一つはうる覚えなんですけど三厩(みんなや)か蓬田(よもぎだ)かどっちか。あっち方面で、8月の頭って今みたいに扇風機とかエアコンとか普及してないので暑いとほんとに寝れないっていうのが何日も続いたらしいんですよ。で、眠気を飛ばすというか、厄払いっていうのがあるらしく、だからどことこの地域でもお祭りがあると。西目屋は青森県の中でも1番人口が少ないということでそういう絡みがあるのかなあと、もう一個の方はうる覚えで申し訳ないんですけど今度調べてお知らせします。平賀とかもだいぶ有名になってきましたけど、あとは藤崎にもあるし、お囃子も似ているようで全然違くと、黒石はもう全然違う。藤崎も黒石に似てるんですけど節と節、最後の節を2回繰り返すと、ホントに地域の特徴とかあって平賀は早いとか、すごい面白い。木造とか鯨ヶ沢とかもう独特の囃子があったり岩崎とかにもねぶたあるので。ちなみに



県外でも60か所から70か所くらいでもねふたとかねふた祭りってあるようです。たとえば最近有名になってきたのが鹿児島県の知覧(ちらん)ってところでねふたが。それは平成3年とか高校生の留学じゃないですけど青少年交換みたいのをやってその時に平賀から行った高校生がここでもねふたやればいいのって思ったのから始めて、今知覧でねふたがあるそうです。昨日一昨日とつくばでも青森ねふた、『まつりつくば』っていうのがあって私筑波に住んでたことがあるのでそれ知ってるんですけど、なぜか筑波でも青森ねふたを開催されているというってくらい全国的にも有名です。今弘大で教えて1番わくわくするのが、囃子のサークルができてやっと今年の春に卒業生が初めて出たんです。今県庁とか弘大とかに就職して今卒業した子たちは地元の子が多かったのだからなんですけど、結構弘大さんなので北海道出身ですとか千葉県出身なんですっていう学生さんが今いて、全国にまた散ってくんですよ。全員が全員弘前に残るわけじゃないので、その時に弘前にすごいお祭り楽しくてさーっというのを全国でどんどん宣伝してくれればうれしいなっていうのが思いにあって今こういう活動しています。皆さんもぜひ。

その袋は誰がつくったの？

さすがに私裁縫得意じゃないので。買ったものではないです。生地だけ選んで、生地を友達のお母さんに渡して、すみません作ってくださいって。この袋を元に今度おふくろに今作ってねっってお願ひしています。このしんちゃん(クレヨンしんちゃん)はお遊びです。結構外觀がかわいくてかっこいい感じになってます。開けた時になんだこれっていうギャップがいいかなっていうことでわざとしんちゃんにしています。次はもう今度はド派手に太鼓班引き連れて一度機会あればなあと。ちなみにさっき笛1本2000円から3000円って話したんですけど、肩から担ぐ太鼓で7万円で、手平鉦(てびらがね)、じゃがらじゃがらって手平鉦で大体2万円で笛ってお金かからなくていいんですが、結局これだけそろえちゃうと太鼓とどっこいどっこい、下手したら太鼓よりかかったかなって。

その中で1番高い笛って？

1番お金かかったのはこれ。

何が違うんですか？何か塗ってる？

もともとは竹。私が登山囃子を始めた中学校から使っている笛で、今これ漆塗って、ただの黒いところも漆なんですけども、吹いたときに真正面で色が違う、ここ純金入れてるんです。純金



の粉。実はこれ落としてかけちゃったんですよ。それでかけたのを埋めようと思って漆でカバーしようと思ったんですけど、真正面でかっこいいんで、ここ逆に生かしたらどうかとなって真鍮（しんちゅう）とかでもいいけど、どうせ入れるんだったら純金でってなって1gで7000円。ちなみにこの笛でデビューした演奏が荒田会長の娘さんの結婚式です。私そこまで温存してました。

去年？

去年ですね。ちょうど結婚式で笛吹いてほしいんだけどって言われました。

ロータリーはもうできてた？

できてました。

それで接点があったのか

全然ロータリーがなければ、そのうち知り合ってた気もしますが、ただロータリーの繋がりを知り合って、ちょうどその重々しい雰囲気を出してほしいんだということだったので、そのうってつけの笛であるこれで演奏しまし

た。金額は秘密です。もう20本なので単純に2000円かけても4万円。

フルートなんかだと息の吹きかけとか角度で音程を変えたりする江戸、その笛っていうのは音程は変わるんですか？

やっぱりフルートにその辺のは似ていて、特にお山参詣の囃子は角度で音変えないといけません。オクターブは息の量とか息の出し方で変わるんですけど、この角度で半音変わるんですよ。だから低いところは半音さらに低く、指だけじゃどうにもならない音ってのがあってその耳を作るのに5年とか多分かかる。だから多分大会とか見ててあそこの音もうちょっと低かったらよかったのにねとかっていう話をができるのは、吹奏楽やってたからよかったのかなって思います。

お時間が来たようです。



会長挨拶 荒田俊治 会長

最近私が思っていることは、先日のE例会でもそうでしたが、最近こなさなければいけないことばかりで、クラブとしては何もできていないということです。ただ集まっている状況にあるということです。ですから、ここで色々



な提案をして、活動をはじめることが大切だと思います。

私も、いじめに対しての活動であるとか、弘前にスポーツクラブを作ったりしてスポーツを活性化させるとか、弘前をリゾート地にしたりとか、水の問題ですとか、そういったことにチャレンジしていきたいと考えています。

始めようとするとなかなか関わったりしなければならぬので、始めるにはなかなか難しい部分もあると思いますが、アップルロータリーも色々な形でアップルの色を出しながら参加していければと思います。

是非、みなさん知恵を絞って、色々意見を出し合って、時にはぶつかりながら一日でも早く取り組んでいきましょう。



ニコニコ報告

荒田俊治会員：R&B Soulのパーティーが大成功でした。このような活動が盛んになって欲しいと思います。

岡本薫会員：朝晩涼しくなりましたね。竹浪さんの卓話楽しみにしています。

宇野純子会員：“ボウリング大会、懇親会に参加出来ず残念。またやってくださいネ。大曲の花火大会に行く途中、熊と遭遇して怖かったけど花火はよかった。小林さんバームクーヘンありがとう。おいしかった。”

木村由美会員：暑い夏も終わりそうですね。今日竹浪さんの卓話楽しみに来

ました。小林さん、おいしいバームクーヘンごちそうさまでした。

三浦順子会員：竹浪さん、卓話よろしくお願いします。小林さん、バームクーヘンごちそう様です。とってもおいしかったです！！

坂本大輔会員：“土曜日ボウリング大会参加された皆様、おつかれさまでした。このような会員間の距離を縮める企画をどんどんやってください。そして皆様参加し、どんどん親睦を深めて下さい。”

小林伯裕会員：ボウリング大会の後遺症で、ペンを上手く動かせません・・・

竹浪大輔会員：土曜日のボウリング大会、お疲れ様でした。昨日は鳥井野地区のお山参詣に参加。全身痛いです
(笑)



出席報告

第59回例会

出席者数 10名

出席率 35%

修正出席率 100%

【メイクアップ】

8月21日

ライン君オリエンテーション



関場会員、三浦会員、宇野会員、坂本
会員、山田会員

8月23日

8クラブ会長幹事会
荒田会員、坂本会員

8月24日

ボーリング大会&懇親会
澁谷会員、小林会員、坂本会員、吉澤
会員、竹浪会員、上田会員、渡邊会員、
山田会員、吉田会員、木村会員、山本
会員、菊池会員

■例会予定

9月2日(月) 青少年奉仕月間
卓話：ライン君

9月9日(月) 内部卓話：吉澤葉子会員

9月16日(月) 休会

9月23日(月) 休会

9月30日(月) 休会

■地区内外行事

10月5-6日 地区大会(八戸市)